

平成30年12月
新川地域介護保険・ケーブルテレビ事業組合議会
定例会会議録

平成30年12月26日 開会
平成30年12月26日 閉会

平成 30 年第 3 回新川地域介護保険・ケーブルテレビ事業組合議会 1 2 月定例会会議録

午後 1 時 30 分 開議

議事日程

第 1. 議席の指定

第 2. 会議録署名議員の指名

第 3. 会期の決定

第 4. 副議長の選挙

第 5. 議会運営委員の選任

第 6. 議案第 18 号 平成 30 年度新川地域介護保険・ケーブルテレビ事業組合
介護保険事業特別会計補正予算（第 2 号）

議案第 19 号 新川地域介護保険・ケーブルテレビ事業組合 C A T V 放送センター
に係る指定管理者の指定について

（提案理由説明 理事長）

（休憩） 全員協議会開催 議案等細部説明

議会運営委員会開催

（再開） 質疑

第 7. 一般質問

第 8. 討論・表決（議案第 18 号から議案第 19 号まで）

第 9. 議会運営に関する調査について（委員長報告・質疑・表決）

本日の出席議員（9人）

1番 辻 泰久 君
3番 中村 裕一 君
5番 佐藤 一仁 君
7番 井田 義孝 君
9番 水野 仁士 君

2番 辻 靖雄 君
4番 柴沢 太郎 君
6番 野島 浩 君
8番 加藤 好進 君

説明のため出席した者

理事長	大野 久芳 君	副理事長	笹島 春人 君
副理事長	笹原 靖直 君	監査委員	八木 正則 君
会計管理者	岩上 勝彦 君	事務局長	村田 治彦 君
総務課長	佐々木 隆一 君	課長補佐・管理係長	村田 まゆみ 君
課長補佐	矢木 恭江 君	給付係長	久野木 利佳 君
認定係長	木本 志津 君	ケーブルテレビ事業課長	野坂 真佐仁 君
ケーブルテレビ係長	徳永 賢二 君		

職務のため出席した者

黒部市福祉課長	霜野 好真 君	黒部市企画政策課長	島田 恭宏 君
入善町保険福祉課長	真岩 芳宜 君	入善町企画財政課参事	竹島 秀浩 君
朝日町健康課長	中島 優一 君	朝日町企画調整課長	小川 洋道 君

○議長（佐藤 一仁君）本日、12月定例会が招集されましたところ、ただ今の出席議員は全員であります。定足数に達しておりますので、これより平成30年第3回新川地域介護保険・ケーブルテレビ事業組合議会12月定例会を開会いたします。

監査委員から例月出納検査の報告がありました。お手元に配付したとおりでありますので、説明は省略させていただきます。

それでは、本日の議事に入ります。会議規則第19条の規定により作成いたしました議事日程は、お手元に配付しましたとおりであります。

「議席の指定」

○議長（佐藤 一仁君）日程第1、「議席の指定」を行います。

議席は、会議規則第3条の規定により、議長において指定いたします。新たな議員の議席は、ただいまご着席の議席といたします。

「会議録署名議員の指名」

○議長（佐藤 一仁君）日程第2、「会議録署名議員の指名」を行います。

会議録署名議員は、会議規則第89条の規定により、「3番 中村 裕一君」、「9番 水野 仁士君」以上2名を指名いたします。

「会期の決定」

○議長（佐藤 一仁君）日程第3、「会期の決定」を行います。

お諮りいたします。今定例会の会期は、本日12月26日の1日間とすることにご異議ございませんか。

[「異議なし」の声あり]

○議長（佐藤 一仁君）ご異議なしと認め、会期は「1日間」と決定いたします。

「副議長の選挙」

○議長（佐藤 一仁君）日程第4、「副議長の選挙」を行います。

ご報告申し上げます。議会閉会中に、組合同規約第8条第1項の規定により、副議長が欠けております。このため、副議長の選挙を行います。お諮りいたします。選挙の方法につきましては、地方自治法第180条第2項の規定により、「指名推選」にいたしたいと思っております。これにご異議ございませんか。

[「異議なし」の声あり]

○議長（佐藤 一仁君）ご異議なしと認めます。よって、選挙の方法は「指名推選」によることに決定いたしました。お諮りいたします。議長において指名することといたしたいと思いますが、ご異議ございませんか。

[「異議なし」の声あり]

○議長（佐藤 一仁君）ご異議なしと認めます。よって、議長において指名することに決定いたしました。副議長に「加藤 好進君」を指名いたします。お諮りいたします。ただいま、議長において指名いたしました「加藤 好進君」を副議長の当選人と定めることにご異議ございませんか。

[「異議なし」の声あり]

○議長（佐藤 一仁君）ご異議なしと認めます。よって、ただいま指名いたしました「加藤 好進君」が副議長に当選されました。「加藤 好進君」が議場におられますので、本席から当選の告知をいたします。それでは、新たに副議長になりました「加藤 好進君」より、ご挨拶をお願いします。

○副議長（加藤 好進君）皆さんこんにちは。今ほどご推挙によりまして副議長に就任いたしました。これから、佐藤議長をバックアップしながら、地域のために頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお祈りいたします。

「議会運営委員の選任」

○議長（佐藤 一仁君）日程第5「議会運営委員の選任」を行います。議会閉会中に欠員となっております議会運営委員2名の選任については、委員会条例第3条の規定により、議長において指名いたします。議会運営委員会の委員に「辻 泰久君」及び「水野 仁士君」以上2名を指名したいと思います。これにご異議ございませんか。

[「異議なし」の声あり]

○議長（佐藤 一仁君）ご異議なしと認めます。よって、ただ今指名いたしました「辻 泰久」君、「水野 仁士」君を議会運営委員に選任することに決定いたしました。

「議案第18号から議案第19号」

○議長（佐藤 一仁君）日程第6、「議案第18号」及び「議案第19号」を一括議題といたします。理事長から提案理由の説明を求めます。理事長「大野 久芳君」

（提案理由説明）

○**理事長（大野 久芳君）** このたび、朝日町議会及び黒部市議会より6名の議員の方々が本組合議員に選出されました。介護保険事業においては、第7期事業計画の1年目であり、ケーブルテレビ事業においては、指定管理者制度導入に向けた動きが本格化する中、識見豊かな議員の皆様をお迎えできたことは、大変心強く思っているところでございまして、ご活躍のほどを期待しております。また、今ほどは、人格識見共に卓越された「加藤 好進」議員が副議長にご就任されましたことに対し、心からお祝いを申し上げます。今後とも円滑で活発な議会運営が図られますようご期待申し上げますとともに、格別なお力添えを賜りますようお願い申し上げます。提案理由説明をさせていただきます。

平成30年第3回新川地域介護保険・ケーブルテレビ事業組合12月定例会を招集いたしましたところ、議員各位のご参集を賜り、本組合の重要諸案件をご審議いただきますことに対し深く敬意を表します。

それでは、議案の説明に先立ちまして、介護保険事業及びケーブルテレビ事業の取組み状況について概要を申し上げます。

まず、介護保険事業についてであります。本年10月1日現在の管内総人口は78,554人で、前年同期と比べ822人、率にして1.0%の減少、うち65歳以上の第1号被保険者数は26,597人で、前年同期と比べ158人の増加となり、高齢化率は0.5ポイント高い33.8%となっております。また、本年9月末の第2号を含む要支援及び要介護認定者数は4,938人となり、前年同期と比べ139人の増加、認定者の発生率は、18.6%となっております。

一方、施設整備につきましては、管内黒部市において小規模多機能型居宅介護と認知症対応型共同生活介護、いわゆるグループホームの併設施設が完成し、今年12月から利用者の受付を開始されております。介護職員の不足等もあり、事業者を公募してもなかなか応募が無く、施設整備計画が思うように進まないといった状況の中、新たな施設が完成したことは、大変喜ばしいことであると思っております。

次に、ケーブルテレビ事業について申し上げます。本年9月末のケーブルテレビ加入世帯数は22,872世帯で、加入率は81.9%であります。昨年9月末と比べますと117世帯の増加、加入率は0.4ポイント高くなっております。加入の内訳は、エコノミーコースが17,489世帯・加入率62.6%、BSデジタルコースが1,130世帯・加入率4.0%、多チャンネルコースが4,253世帯・加入率15.2%となっております。エコノミーコースの増加により、加入世帯数は増加傾向にありますが、多チャンネルコースの減少により、使用料収入が伸び悩むという状況が続いております。また、今年1日から放送が開始されました新4K衛星放送への対応につきましては、来年4月からのサービス開始に向け、条例改正等必要な作業を進めてまいりたいと考えているところであります。

それでは、本日提出しております議案についてご説明申し上げます。

はじめに、議案第18号「平成30年度新川地域介護保険・ケーブルテレビ事業組合介護保険事業特別会計補正予算（第2号）」であります。補正額は、予算総額に歳入歳出それぞれ3,344万4千円を追加し、補正後の予算総額を82億4,202万円とするものであります。補正の内訳は、平成29年度の介護給付費分担金の精算に係る市町への返還金であり、補正に要します財源は、繰越金をもって充当するものであります。

次に、議案第19号「新川地域介護保険・ケーブルテレビ事業組合CATV放送センターに係る指定管理者の指定について」であります。9月3日から10月5日までの指定管理者公募期間中に応募があった1社の事業計画について、指定管理者選定委員会にて業者へのヒアリング、企画内容

の審査等を行い、候補者として選定いたしました。その候補者について、議決を賜り、次年度から5年間の指定管理者として指定しようとするものであります。

以上、本日提出いたしました議案について、概要をご説明申し上げます。なお、詳細につきましては、全員協議会でご説明申し上げます。何卒、慎重ご審議の上、適切なるご決定を賜りますようお願い申し上げます。提案理由といたします。

○議長（佐藤 一仁君） それでは、議案の細部説明を聞くため、暫時休憩をいたします。

午後1時40分 休憩

午後2時06分 再開

「再開」

○議長（佐藤 一仁君） それでは、休憩前に引き続き会議を開きます。議会運営委員会の委員長及び副委員長の互選が行われましたので、その結果を報告いたします。委員長に「辻 泰久君」、副委員長に「水野 仁士君」が選出されたことを報告いたします。

日程第6の議事を継続し、これより質疑を行います。質疑ございませんか。

[「なし」の声あり]

○議長（佐藤 一仁君） 質疑なしと認めます。これをもって質疑を終結いたします。

「一般質問」

○議長（佐藤 一仁君） 日程第7、「一般質問」を行います。今回の通告者は「井田 義孝君」1名であります。

発言を許可いたします。「井田 義孝君」

○7番（井田 義孝君） 私は、大きく3点について質問をいたします。

まずは、第7期計画で整備を見込んでいる施設への公募の結果についてであります。第7期計画では6種類9事業所の整備が計画されており、本年度は黒部市で小規模多機能居宅介護が1つ、グループホーム1つの整備が計画されています。8月27日に行われた8月議会での答弁では、31日の受付終了なのに問い合わせが3件のみとのことでした。この9施設について、応募の状況はどうか、整備の展望はあるのか答えてください。

入善町の12月定例議会の補正予算で、当組合からの保険給付費精算金があったとして、分担金が1千万円以上マイナス補正されました。本日の補正予算書によれば、29年度の給付費分担金精算返還金は、黒部市で1,589万8千円、入善町で1,046万1千円、朝日町で708万5千円で、総額3,344万4千円となっています。ちなみに、28年度の返還金はもっと大きく、総額で6,649万1千円、入善町には1,586万円も返還されてきています。第6期計画では、職員不足を理由に計画の16事業所のうち、9事業所54名分が整備できず、計画倒れに終わっています。抜本的な職員確保

育成に策を講じなければ、7期計画も絵に描いた餅になりかねません。8月議会に引き続いてお聞きしますが、各市町に返還するお金があるのなら、その分で介護職員の確保と育成について、組合としての取組みを強化するおつもりはありませんか。教えてください。

3つ目に、ケーブルテレビ事業についてお聞きします。今議会の議案では、ケーブルテレビ事業の指定管理者についての議案が提出されております。組合は、このままケーブルテレビ事業を続けるにせよ、民間譲渡の可能性を探るにせよ、老朽化した設備の更新が必要だとしていますが、設備更新の見通しと予算、各市町の分担額はどうなっているのか教えてください。8月議会で入善町の野島議員が、ケーブルテレビ事業の今後の展望について質問しましたが、具体性に乏しい答弁しか返ってきませんでした。7月に入善議会で行われたケーブルテレビ事業の勉強会でも、莫大な投資をしてまで設備を更新し、この事業で何を目指すのか、見合うものを住民に示せるのかを問う声が多数の議員から出されました。設備更新の莫大な費用に見合う事業の展望はどうか教えてください。以上が私の質問です。

○議長（佐藤 一仁君） それでは、答弁を求めます。はい。「理事長 大野 久芳君」

○理事長（大野 久芳君） それでは、「第7期計画で整備を見込んでいる施設への指定公募の結果はどうか」というご質問についてお答えをいたします。

当組合で指定を行う地域密着型サービスの公募につきましては、第7期介護保険事業計画に基づき、看護小規模多機能型居宅介護や認知症対応型共同生活介護などの6種類のサービスで合計9つの事業所について、平成30年8月1日から31日までの1ヵ月間の間行ったところであります。

結果としましては、平成32年度を開設予定とする朝日町の小規模多機能型居宅介護に1事業者から申込みがありました。選定につきましては、現在審査中であり、2月の理事会に諮る予定となっております。

今回の公募では、残念ながら整備計画を満たすまでの申込みには至りませんでしたので、来年度においても、事業所への個別訪問など周知の強化を図りながら、引き続き公募を行っていきたいと考えております。

また、申込みが少なかった背景には、介護人材の確保が難しいことなどがあると推察されますが、介護職員の処遇、介護報酬や施設整備事業等の改善について、国や県にも要望を行い、充実した地域密着型サービスの整備に結びつくよう今後も努めてまいりたいと考えております。

○議長（佐藤 一仁君） はい。「佐々木総務課長」

○総務課長（佐々木 隆一君） 次に2つ目の項目「保険給付費分担金の精算金は各市町それぞれいくらか。その分で介護職員の確保と育成についての取組みを強化するつもりはないのか」についてお答えいたします。

平成29年度の介護給付費分担金の精算につきましては、本日の議案として上程させていただきましたとおり、黒部市分1,589万8千円、入善町分1,046万1千円、朝日町分708万5千円の返還金が生じるようになっております。

介護給付費とは、要介護や要支援の認定を受けた方が利用する介護保険サービスにかかる費用であり、その財源は国、県、市町の公費と、第2号保険料及び第1号保険料で賄われており、負担割

合が法律で定められております。毎年、介護保険事業計画や事業実績を参考に予算を計上しており、精算を行うことにより、追加の負担金や返還金が生じることとなります。介護給付費の法定負担割合分として納めていただいた金額でありますので、精算による返還金が生じた場合には、お返しするべきものであります。

なお、組合としての介護人材の確保と育成に関する取組みの強化につきましては、介護職のイメージアップを図り、介護職へ進むきっかけとなるような新たな取組みができないか、構成市町と協議を行い、一般会計の中で取組んでまいりたいと考えております。

○議長（佐藤 一仁君）はい。「理事長 大野 久芳君」

○理事長（大野 久芳君）それでは、次に「CATV事業の設備更新方法、予算はどうか」というご質問についてお答えをいたします。

ケーブル網の更新につきましては、これまで全面光化する方式や部分的に光化する方式などの更新方法、さらにはNTTなどの既存光ケーブル網を活用した卸役務方式などの比較検討を行ってきた結果をもとに、精査しているところであります。その上で、更新の方法、更新に係る費用、財源及び更新時期などを再度比較検討し、基本的な方針を定めてまいりたいと考えております。

また、各市町の負担金につきましては、設備更新の方法により異なることから、現時点ではお示しすることはできませんが、組合として慎重に判断してまいりたいと考えておるところであります。

「再質問」

○議長（佐藤 一仁君）それでは、再質問を受けます。はい。「井田 義孝君」

○7番（井田 義孝君）想像どおりと言いますか、残念なことに、9事業所公募したのに、応募があったのは1つだけということでした。

確認しておきますが、先ほど質問の中でも言いましたように、今年度は黒部市に小規模多機能11床が1つ、グループホーム18床が1つ、そして、来年度は黒部市に看護型小規模多機能29床、認知症デイサービスが3床増える計画となっています。入善町では、認知症グループホームが1つ、認知症対応型デイサービスが1つ計画されています。そして、32年度には朝日町に、今言われた小規模多機能25床が1つ、グループホーム9床が1つ、認知症デイサービスが1つ、合計3つの施設の整備が計画されています。それから、入善町に、グループホームが1つ計画されています。今年度2つ、来年度3つ、再来年度4つということで合計9施設計画されていたわけです。

引き続き努力をされるということでしたが、第6期計画も結局整備できないまま終わって、第7期計画に持ち越しているわけです。理事長は、介護職員が足りないからだとおっしゃいました。ということは、介護職員を確保する、育成する以外に計画している施設を整備する方法はないわけです。

というわけで、1つ目と2つ目の項目に関して合わせた再質問になりますが、今年度は3,344万4千円を各市町に返すということで議案が出てきています。去年の12月議会でも出されているのを見ますと、6,649万1千円返還されております。合わせれば1億円近いお金になります。発生主義ですから、もう給付して終わってしまった後に返すべきことになっていて返すお金なので、この

お金自体を何か使えと言っているわけではありません。こういうふうにお金が余って黒字になるのであれば、新たに人材確保のための制度を創るべきだと思います。今ほども申し上げましたが、黒部、入善、朝日で整備計画を立てても応募が無いわけです。前回の答弁で、各市町でも援助をしているので、それぞれの市町に任せますと言っていました、それでいいのでしょうか。職員不足のため施設が整備できないという状況が続いておるわけです。組合として、新たに介護職員の支援制度、育成制度を創るべきではないかと思いますが、いかがでしょうか。

○議長（佐藤 一仁君）はい。「佐々木総務課長」

○総務課長（佐々木 隆一君）介護職員確保のための新たな取組みをすべきではないかということでございますが、介護の業界が人材不足であるということは認識しております。おっしゃられたとおり、構成市町においては、人材の掘り起こし、自治体外からの人材の確保、資格取得といったスキルアップの支援、離職防止の支援など様々な取組みをしておられます。私どもといたしましては、全体に波及するような取組みが何かできないかと考えておまして、これから協議していく話になりますが、例えば介護職全体のイメージアップをして、介護職に就いてもらうきっかけとなるような取組みをしてまいりたいと考えております。具体的に申しますと、嫌厭される介護の職場の中にあっても、希望ややりがいを持って就労しておられる若い方も管内にはたくさんおられます。そういった方達にスポットを当てた映像などを作成して、ケーブルテレビやホームページで公開し、これから働こうとする人達に見てもらうことで、介護の仕事もいいものだと感じてもらい、選択肢の1つとして考えてもらえるようになればと考えております。

○議長（佐藤 一仁君）はい。「井田 義孝君」

○7番（井田 義孝君）確かに各市町でも様々な取組みをしておられ、入善町でも初任者研修にかかる費用を補助したり、他の市町村から入善町へ来て介護職に就いた方への助成する制度があります。しかし、29年度の決算委員会で聞きましたが、初任者研修の補助を利用した人は10人、他市町村から来られて入善町で就職した方は2人です。これで足りているとは到底思えません。ちなみに、今年度から組合で始めた介護資格取得支援給付金の実績はどうなっていますか。

○議長（佐藤 一仁君）はい。「佐々木総務課長」

○総務課長（佐々木 隆一君）当組合で実施している給付金制度の実績でございますが、現在、こちらで把握している対象者の方は4名おられます。次年度も引き続き実施していきたいと考えておまして、来年度の制度の利用について、事業所に希望調査を実施したところでございますが、来年度は10名ほど利用希望があることを確認しております。

○議長（佐藤 一仁君）はい。「井田 義孝君」

○7番（井田 義孝君）入善町でも頑張っていますが、中々実績が上がらない。制度は無いより有った方がいいのですが、使われないことには無いのと同じです。イメージアップというのも大事だ

ということは分かりますが、それで人が集まるようなら苦労はしません。私も、議員になる前は介護職員で、介護職員の待遇を改善するための運動を労働組合で色々やりました。現実の介護職員の1番の要望というのは、やりがいを持った介護をしたいということです。巷で言われているような給料が安いとか、大変だとか、腰が痛いとかいうのは必ず2番目が3番目にあって、こんなにも、あんたら待ってって言うために介護職に就いたわけではないということが必ず1番目に来るのです。現場に人手が足りないからです。本当は3人でかかってあげられれば十分な介護ができるところを1人でしないといけない。そうなると、次の人も待っているからということで、十分な介護ができない。これが1番つらいということで辞めていってしまう。確かに、介護はやりがいのあるいい仕事ですが、一方ではやりがいのある介護ができないという実態もあります。8月議会でも私は繰り返し言いましたが、実際の介護職員を応援する制度、例えば岐阜県の高山市では夜勤手当への支援をしています。全体に波及するような取組みを検討するというのであれば、家賃補助など実際の生活を恒常的に支援する制度を組合として編み出していただき、組合管内どこに行っても働きやすくなるような取組みをしてもらえるよう強く要望いたします。

次に、ケーブルテレビについて再質問いたしますが、導入当初に言っておられた双方向型だとか、下水道の中に光回線を通すだとか、家で病院の予約を取れるようになるのかという話は、全て破綻いたしました。これは、入善町議会の勉強会の中で出た話です。何十億かけてまで光ケーブルに更新する価値があるのか、この先ケーブルテレビで何を住民に向けて発信していくのかというような意見が議員さんから出ましたが、現在あるものをより充実させるという答弁しかなかったわけです。来年から4K放送を始めますと言っていますが、デジタル多チャンネルがどんどん減って収入が減っている状況で、4Kにすると新しいSTBが必要になるのでまた余計にお金がかかることになる。これでは、ケーブルテレビの展望が開けていくなんで到底思えません。前にも聞かれたことがあるかもしれませんが、光化するよりも、中継局にアンテナを立てて、無線ルータを配ってはどうですか。そういうやり方を検討されたことはありませんか。

○議長（佐藤 一仁君）はい。「野坂ケーブルテレビ事業課長」

○ケーブルテレビ事業課長（野坂 真佐仁君）当然、そういう手法もございます。例えば、外国の話になりますが、お隣の中国等では無線による整備が進んでおります。整備方法につきましては、総務省や県の担当課とも相談しております。総務省の見解になりますが、日本は地形的に起伏が激しく、山間地も多いため、無線にすると山などによって電波が遮られるといったことが起こることから、条件としては非常に厳しいため、有線での整備が進んでいるということです。

○議長（佐藤 一仁君）はい。「井田 義孝君」

○7番（井田 義孝君）何十億かかってでも更新する必要があることを住民に語るができるよう、きちんとした事業の展望を考えていただきたいということを要望いたしまして、質問を終わります。

○議長（佐藤 一仁君）以上で一般質問を終了いたします。

討論・表決「議案第 18 号から議案第 19 号」

○議長（佐藤 一仁君） 日程第 8、「議案第 18 号から議案第 19 号」の 2 件を一括議題といたします。

はじめに討論を行います。討論はございませんか。

[「なし」の声あり]

○議長（佐藤 一仁君） 討論なしと認めます。これをもって討論を終結いたします。

これより採決いたします。「議案第 18 号 平成 30 年度新川地域介護保険・ケーブルテレビ事業組合介護保険事業会計補正予算（第 2 号）」について、起立による採決をいたします。

本件について、原案のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

（起立全員）起立全員であります。よって、本件は原案のとおり可決されました。

次に、「議案第 19 号 新川地域介護保険・ケーブルテレビ事業組合CATV放送センターに係る指定管理者の指定について」を、起立により採決いたします。

本件について、原案のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

（起立全員）起立全員であります。よって、本件は原案のとおり可決されました。

「議会運営に関する調査について」

○議長（佐藤 一仁君） 日程第 9、「議会運営に関する調査について」を議題といたします。本件を付託した議会運営委員会の調査の結果について、委員長から報告を求めます。「議会運営委員長 辻 泰久君」

○1 番（辻 泰久君） 本委員会に付託され、議会閉会中の継続審査に付されております「議会運営に関する調査について」その結果をご報告申し上げます。

本委員会は、本日、本定例会休憩中に開催し、正副委員長の互選を行った結果、委員長には不肖私が、副委員長には「水野 仁士君」が選任されました。その後、議会運営に関する事項について協議をし、議会運営の効率化等については、引き続き調査する必要があると認め、議会閉会中も継続して調査すべきものと決定いたしました。以上であります。

○議長（佐藤 一仁君） ただ今の委員長報告に対する質疑を行います。質疑ございませんか。

[「なし」の声あり]

○議長（佐藤 一仁君） 質疑なしと認めます。お諮りいたします。本件に対する委員長の報告は、「議会閉会中の継続審査」であります。委員長の報告のとおり決することにご異議ございませんか。

[「異議なし」の声あり]

○議長（佐藤 一仁君）ご異議なしと認め、本件は、「議会閉会中の継続審査」とすることに決しました。

以上をもちまして、本定例会に付議された案件は、全て終了いたしました。

これをもって、平成30年第3回新川地域介護保険・ケーブルテレビ事業組合議会12月定例会を閉会いたします。閉会にあたりまして、理事長からご挨拶があります。

○理事長（大野 久芳君）12月定例会の閉会にあたり一言ご挨拶申し上げます。当局から提案いたしました議案につきましては、慎重ご審議を賜り、滞りなく議了いただきましたことに対しまして、心から感謝を申し上げる次第でございます。

審議の過程におきまして賜りましたご意見につきましては、心して執行にあたってまいりたいと考えております。

新川広域圏から28年度に移管を受けましたケーブルテレビ事業は、今ほど議決を得まして、いよいよ指定管理者制度の導入により、民間事業者のノウハウを活かした運営となります。膨大な設備更新にどのように対応していくかなど、大きな課題も残っておりますが、今後も事業の推進にお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

当組合の12月定例会では、それぞれの市町の議会終了後の年末で大変気忙しい時期での開催となっておりますが、議員の皆様方には、大変ご苦勞様でございました。いよいよ本年も本日を含め、後6日間となりました。年末年始、議員の皆様方には、くれぐれも健康にご留意いただきまして、良い年をお迎えいただきますよう心からご祈念申し上げ、閉会のご挨拶といたします。ありがとうございました。

○議長（佐藤 一仁君）議員各位並びに組合の皆様方、大変、お疲れ様でございました。

午後2時40分 閉会

以上の会議の次第を記録し、相違ないことを証するため、ここに署名する。

平成30年12月26日

新川地域介護保険・ケーブルテレビ事業組合議会議長

署名議員

署名議員